National
松下電工

保証書別添
保　管　用

充電 圧　着　器

EZ3902N22K

取扱説明書

JIS C 9711
No.500004

プロ用

● お買い上げありがとうございました。
● ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
● この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

  ⚠警告　：誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

  ⚠注意　：誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

  なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
   - 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
   - この取扱説明書に記載している電池パック以外は充電しないでください。
     破裂して傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。

2. 正しく充電してください。
   - この充電器は定格表示(AC100V)してある電源で使用してください。
     直流電源やエンジン発電機・変圧器では使用しないでください。
     異常に発熱し火災のおそれがあります。
   - 温度が0℃未満、あるいは温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
     破裂や火災のおそれがあります。
   - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
     電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
     破裂や火災のおそれがあります。
   - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
     感電や火災のおそれがあります。

3. 電池パックの端子間を短絡させないでください。
   - 釘袋等に入れると、短絡することで発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
     (単品での保管時は、短絡を防ぐため付属のパックカバーをつけてください。)

⚠警告

4. 感電に注意してください。
   - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
     感電のおそれがあります。

5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
     感電や発煙のおそれがあります。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
     暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
     爆発や火災のおそれがあります。

6. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
     切削したものや粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。

7. 防音保護具を着用してください。
   - 騒音の大きい作業では、耳栓・イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

8. 加工するものをしっかりと固定してください。
   - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
     固定が不十分な場合は加工するものが飛んでけがのおそれがあります。

9. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
   - 使用しない、または、修理する場合。
   - 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
   - その他危険が予想される場合。
     本体が作動してけがのおそれがあります。

10. 不意な始動は避けてください。
    - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
      本体が作動してけがのおそれがあります。

11. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
    - 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
      事故やけがの原因となるおそれがあります。

12. 電池パックを火中に投入しないでください。
    破裂したり有害物質の出るおそれがあります。

⚠注意

1.作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故のおそれがあります。

2.子供を近づけないでください。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがのおそれがあります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがのおそれがあります。

3.使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
事故のおそれがあります。
- 充電工具や電池パックを、温度が50°C以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内等)に保管しないでください。電池パック劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。

4.無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上でのご使用は事故のおそれがあります。
- モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火のおそれがあります。

5.作業に合った充電工具を使用してください。
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大形の充電工具で行なう作業には使用しないでください。けがのおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがのおそれがあります。

6.きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
- すべりやすい手袋や履物はけがのおそれがあります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。

7.充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
感電やショートして発火するおそれがあります。

8.無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがのおそれがあります。
(特に脚立など足場の不安定な場所での作業は注意してください。)

9.充電工具は、注意深く手入れしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用するとけがのおそれがあります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがのおそれがあります。

⚠注意

- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがのおそれがあります。

10.調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出してけがのおそれがあります。

11.屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12.油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。

13. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火するおそれがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。異常動作してけがをするおそれがあります。

14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人は本体、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったり異常に気付いた時は点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

15. 他人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。誤った使いかたをすると事故やけがのおそれがあります。

充電圧着器　安全上のご注意

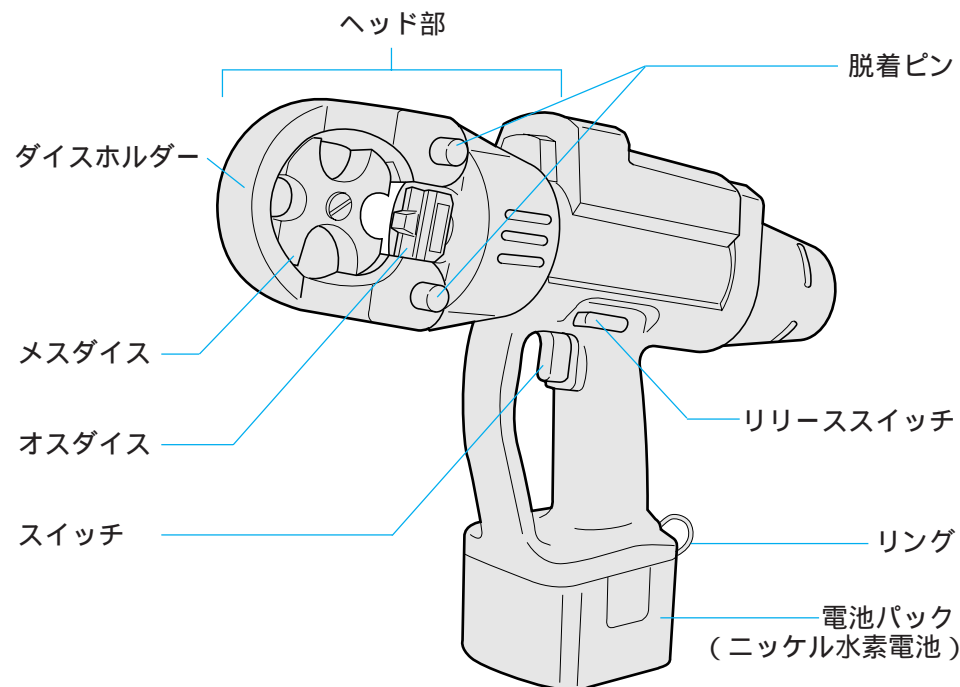
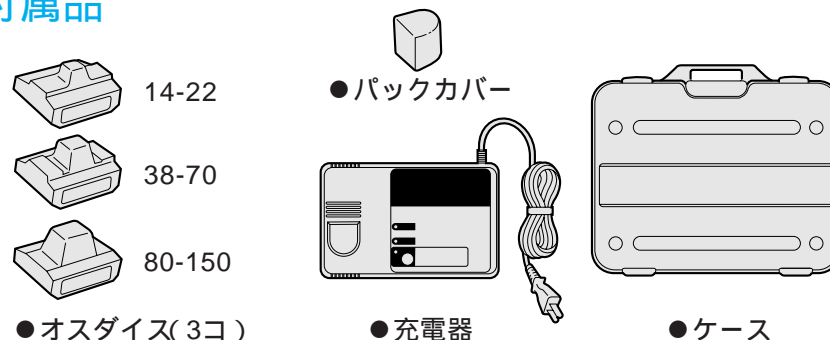
先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電圧着器として、
さらに次にのべる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ヘッド部を人に向けるような使用はしないでください。
  破損した場合、けがのおそれがあります。
- 2本の脱着ピンはダイスホルダーと本体に確実に差し込んでください。
  不完全な差し込みで使用するとダイスホルダーや本体が破損し、
  けがのおそれがあります。
- 通電中の電線には圧着しないでください。
  感電のおそれがあります。
- 動作中は圧着部に触れないでください。
  指がはさまれ、けがのおそれがあります。
- 連続作業のときは1パック使用後、本体を冷ましてから使ってください。
  本体が温度上昇し、やけどやけがのおそれがあります。
- 指定の端子・スリーブ（P9参照）以外には使用しないでください。
  圧着不良で火災などのおそれがあります。
- ピストンロッド部の圧着完了ラインが完全に見えるまで操作を行ってください。
  途中で解除すると圧着不良で火災などのおそれがあります。

⚠注意

- ダイスやダイスホルダー等は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  確実でないとはずれたりし、本体の破損やけがのおそれがあります。
- ダイスホルダー開閉時にダイスホルダーと本体の間に指をはさまない様に
  注意してください。
  けがのおそれがあります。
- 使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
  可動部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。
- 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。
  材料や本体を落としたときなど、事故のおそれがあります。
- メスダイスを回転させるときは指のはさみこみに注意してください。
  けがのおそれがあります。

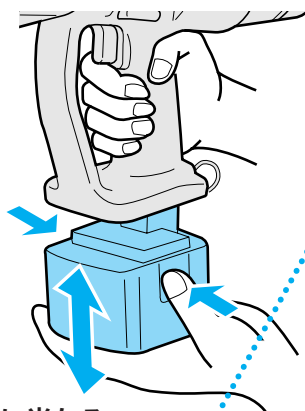
各部のなまえ

充電のしかた

⚠警告
- 雨中では使用しないでください。
  感電や発煙のおそれがあります。

- お買い求めのときは必ずリフレッシュ充電をしてください。
  （電池の不活性により充電容量が不足するため）
- 電池パックHタイプ･Nタイプはニッケル水素電池パック対応の松下電工製充電器で充電してください。

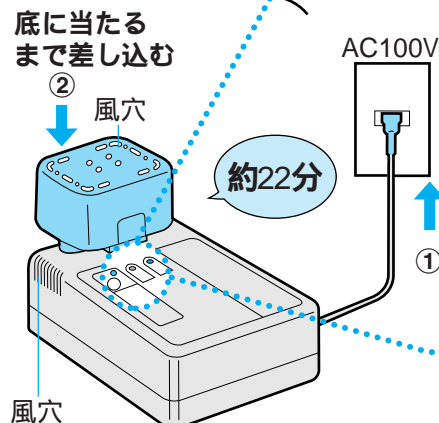
電池パックの抜き差し

はずすときは
フックを押しながら抜く

付けるときは
「カチッ」と音がするまで
差し込む

充電

充電機能について

【充電時間】
- 周囲温度や電池パックの状態により多少変動します。（最大45分）

【冷却ファン付属】
- 電池パックを充電器に差し込むと、ファンによる送風を始めます。充電が完了すると、ファンの送風音が小さくなります。

充電ランプ表示について

ランプ表示		充電器
充電「赤色」	点滅	充電器通電中 コンセントに差し込んだ状態
	点灯	通常充電中 充電している状態
	速い点滅	充電完了
	遅い点滅	保護充電中(最大45分充電) 電池パックが低温・高温のときや、2ヵ月以上使用していなかったとき
待機「橙色」	点灯	待機中 電池パックの温度が高い状態（下がると自動的に充電開始）
	点滅	充電不可 電池パック差込口のゴミづまりや電池パックの故障時など
リフレッシュ充電 押す「緑色」	点灯	リフレッシュ充電中
	速い点滅	リフレッシュ充電完了

リフレッシュ充電を行う場合

- 詳しくはP15を参照ください。

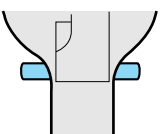
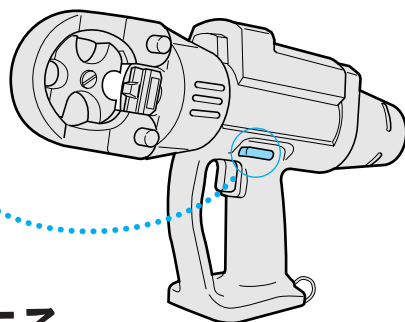
お願い
- 充電は周囲温度0〜40℃の範囲で行ってください。
- エンジン発電機･変圧器で充電器を使用しないでください。
- 電池パックや充電器の風穴をふさがないでください。
- 3パック以上連続で充電するときは充電器を一度冷ましてください。
- 充電後は充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください 。

こんなときは…
- 冷えた電池（約5℃以下）を暖かい場所で充電するときは電池を約1時間以上放置し、その場の温度になじませてください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器または電池パックが故障しています。ただちに修理をご依頼ください。（P19）

使いかた(準備)

⚠警告	● 指定の端子・スリーブ以外には使用しないでください。 圧着不良で火災などの原因になります。

● オスダイスとメスダイスのサイズの組み合わせは誤りのないようにしてください。
接続性能上悪影響を生じ、また故障等の原因になりますので注意してください。

1 リリーススイッチを ロックにする

2 圧着する端子・スリーブにより 適合ダイスを選定する

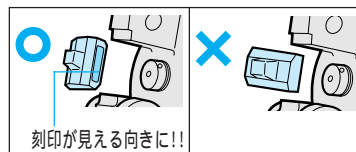
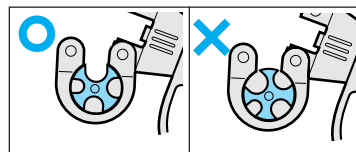
端子・スリーブとダイスの組み合わせ表
※下記以外の圧着端子・スリーブは使用できません。

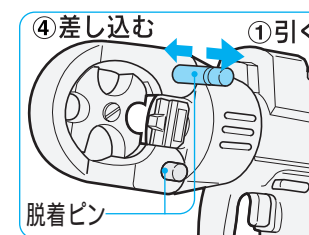
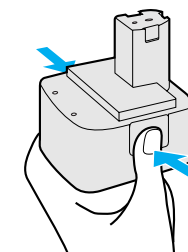
適用電線コネクタの呼び	JIS C 2805 銅線用裸圧着端子	JIS C 2806銅線用裸圧着スリーブ		オスダイス	メスダイス
		直線突き合わせ用(B)	直線重ね合わせ用(P)		
14	○	○	○	14-22	14-38
22	○	○	○		
38	○	○	○	38-70	
60	○	○	○		60-70
70	—	—	○		
80	—	○	○	80-150	80-100
100	○	○	○		
150	○	○	○		150

3 オスダイスを取り付ける

⚠警告	● 2本の脱着ピンは、ダイスホルダーと本体に確実に差し込んでください。 不完全な差し込みで使用するとダイスホルダーや本体が破損し、けがのおそれがあります。

① 脱着ピンのどちらか一方を引きダイスホルダーを開く

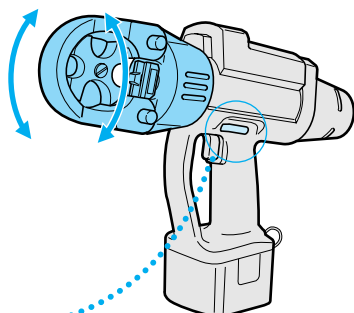
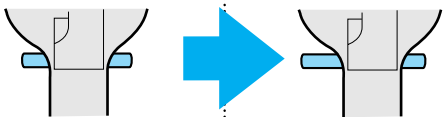
② オスダイスを本体に確実に差し込む

③ **メスダイスを回転させ適合サイズに合わせる**

●ダイスホルダーが確実に閉じられるよう、メスダイスを正しい位置に調整してください。

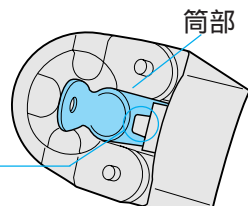
④ **ダイスホルダーを閉じて脱着ピンを突き当たるまで、確実に差し込む**

4 電池パックを差し込む

使いかた(作業)

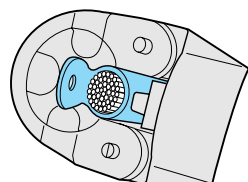
⚠警告
- 動作中は圧着部に触れないでください。
  指がはさまれ、けがの原因になります。
- 通電中の電線には圧着しないでください。
  感電のおそれがあります。

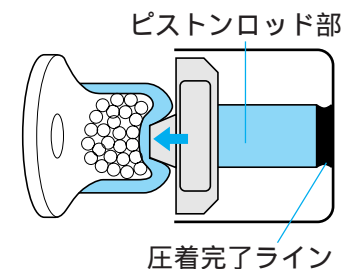
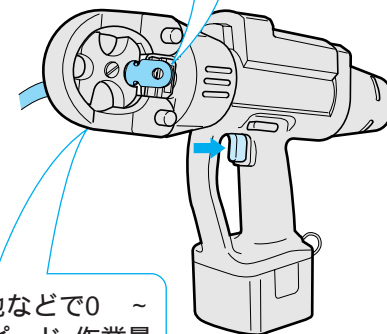
- カラ押し操作(部材を入れない状態での圧着動作)はしないでください。本体の寿命に影響します。(本体を長くお使いいただくためにも定期点検以外はカラ押し操作はしないでください。)

1 ヘッド部を作業しやすい角度に 調整する

- 左右に回転します。

2 リリーススイッチを「圧着」の位置に合わせる

3 スイッチを軽く引き、端子・スリーブの 仮押えをする

- オスダイスが端子・スリーブ筒部の中央にあたるように保持します。

4 仮押えした端子・スリーブに 電線を差し込む

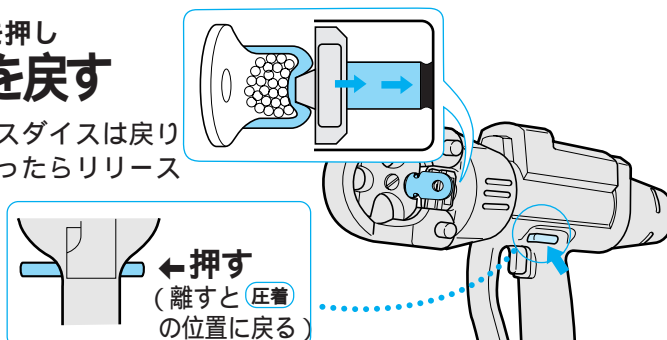
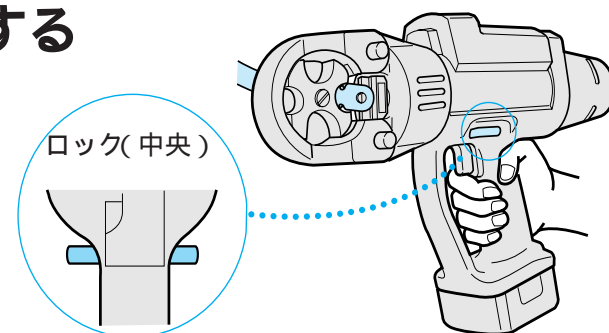
- 心線がわずかに見える位置まで差し込みます。

5 スイッチを引いて 圧着を行なう

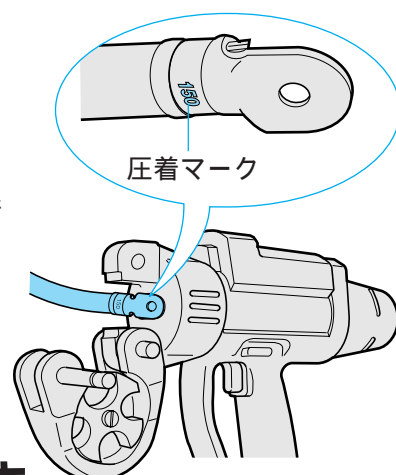
- ピストンロッド部の圧着完了ラインが見えれば圧着完了です。
  この後リリーススイッチを押しても解除できない場合は圧着が完了していません。このときはさらに約1秒、圧着作業を行ってください。
- 最後まで圧着しないと途中で解除できない構造になっています。

操作を続けても圧着完了ラインが見えないときは、一旦作業を中止し電池パックを充電してください。充電後、作業を再開しても圧着完了ラインが見えないときは故障のおそれがあります。ただちに修理をご依頼ください。(P19)

本体の使用温度範囲は0℃〜40℃です。寒冷地などで0℃〜−5℃に冷えた本体をそのまま使うと圧着スピード・作業量は落ちますが圧着品質には問題ありません。本体は使って頂くうちに徐々に駆動部が温まり、圧着スピード・作業量は回復します。
(本体が−5℃以下の状態では正常に圧着できない場合があります。このときは室温10℃以上で1時間以上なじませてから使用してください。)

ニッケル水素電池使用温度範囲は0℃〜40℃です。寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときは、ご使用前に電池パックを再度充電し、充電完了になってからご使用ください。電池が温まり、本来の性能でお使いいただけます。

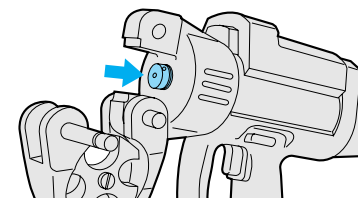
使いかた（作業／終ったら）

6 リリーススイッチを押し オスダイスを戻す

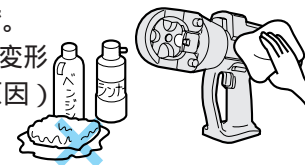
● 押している間、オスダイスは戻り続け、動きが止まったらリリース完了です。

7 リリーススイッチを ロックにする

8 ダイスホルダーを開いて、圧着した端子・スリーブを 取りはずす

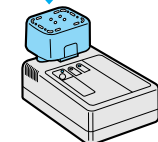
● 端子・スリーブの圧着部分には、圧着マークが表示されています。
（ダイスホルダーの開閉方法はP10手順3を参照ください。）

使い終ったら 電池パックを取りはずす

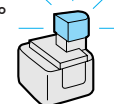
お手入れ・保管

オスダイスを取りはずし装着部内のゴミを取り除く

ダイス・脱着ピンをやわらかい布でふく

本体をやわらかい布でふく

● 濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないで。
（変色・変形する原因）

ニッケル水素電池パックは充電してから保管する

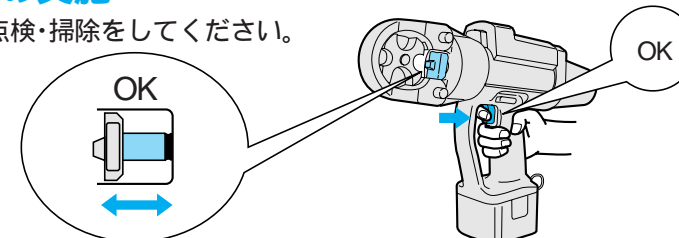
● 充電された状態で保管すると長くお使いいただけます。

電池パックはカバーを付けて

● 単品で保管時は、短絡を防ぐため付属のパックカバーをつけてください。

保管は適切な場所で

● 事故や故障を防ぐため。

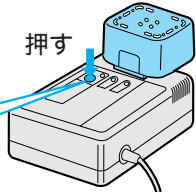
定期点検の実施

● 定期的に点検・掃除をしてください。

使いかた
お手入れ・保管

電池パックについて

⚠警告	● **電池パックを火中に投入しないでください。** 破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

■電池パック（ニッケル水素電池）を長持ちさせるコツ

カラになる前に ▶ **継ぎ足し充電** …しましょう　　**保管前に** ▶ **フル充電** … しておきましょう

■リフレッシュ充電について

お手持ちの電池パックがこんな状態のときは性能回復のため、リフレッシュ充電を行いましょう

- 以前に比べて作業量が減ったと感じたとき。
- 使用後、充電して保管していたが、2ヶ月以上放置していた電池をご使用になるとき。

充電器の 押す ボタンを押してください。
12時間以内でリフレッシュ充電完了です。

（通常の充電と同様にリフレッシュ充電も冷却ファンで電池を冷やしながら行います。電池の状態を見ながらリフレッシュ充電を行うためファンの回転数が途中で下がりファンの音が小さくなります。）

リフレッシュ充電をひんぱんに行うと電池パックの性能を損なうおそれがあります。月1回程度のリフレッシュ充電をおすすめします。

■電池パックの寿命について

寿命の目安
フル充電しても、初期の半分程度の作業しかできない。リフレッシュ充電しても性能が回復しない。

処置
新しい電池パックをお買い求めください。

ニッケル水素電池リサイクルについて
この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックの廃却に際しては、そのままお買い求めの販売店へお返しください。（電池パックは短絡防止のため、必ずパックカバーを付けるか端子部に絶縁テープを貼ってください。）

本製品の使用電池
名称：密閉型ニッケル水素蓄電池HR23/43　公称電圧：1.2V/1個　数量：10個

能力／仕様／別売品

能力

1回のフル充電による使用能力（周囲温度20℃）

● **数値は目安です。蓄電池性能の経時変化、電線・端子・スリーブの種類により、多少変動します。**

電線(CV線)サイズ(mm²)	14	22	38	60	100	150
圧着スピード	約3秒／本	約4秒／本	約5秒／本	約5秒／本	約8秒／本	約9秒／本
圧着回数	140回	120回	110回	100回	70回	65回

※ **圧着スピードは仮押え後からの時間です。**

仕様

本体

モータ電圧	DC12V
公称出力	93.2KN（9.5tonf）
圧着範囲	14、22、38、60、70、80、100、150mm² （銅線用裸圧着端子およびスリーブ）
質量（重量）	4.0kg（電池パック含む）
大きさ	全長　全高　全幅※ 348×256×70（mm）

※電池パック装着部最大幅86mm

充電器（EZ0208）

電源	AC100V　50-60Hz
消費電力	320VA
質量（重量）	0.85kg

充電可能な電池パック

電池の種類			電池電圧			充電時間
材料	容量	タイプ	7.2V	9.6V	12V	
ニッケルカドミウム電池	1.2Ah	Cタイプ	EZ9066	EZ9086	EZ9006	約9分
		Dタイプ	EZ9065	EZ9080	EZ9001	
	1.7Ah	Eタイプ	EZ9165	EZ9180 EZ9182	EZ9101	約12分
		Sタイプ	——	EZ9181 EZ9183	EZ9102	
	2.0Ah	Vタイプ	——	EZ9187	EZ9107	約15分
ニッケル水素電池	2.0Ah	Hタイプ	EZ9168	EZ9188	EZ9108	約15分
	3.0Ah	Nタイプ	——	——	EZ9200	約22分

別売品

● **電池パック**
EZ9200
希望小売価格
16,000円（税別）

● **充電器**
EZ0208
希望小売価格
15,000円（税別）

● **ケース**
EZ9514
希望小売価格
4,000円（税別）

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症　　状		考えられる原因	処　　置
充電時	充電器をコンセントに差し込んだとき充電ランプが点滅しない。		AC100V以外のコンセントで使用している。	AC100Vのコンセントで使用してください。
	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電ランプが点灯する。		フル充電を検知するのに時間がかかるため	しばらくすると、充電完了表示（速い点滅）になります。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。		高周波で制御しているため	別のコンセントで、またはテレビ・ラジオから離して充電してください。
	電池パックを差し込んでも充電ランプが点灯しない。	待機ランプ点滅	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
		充電・待機を繰り返す	電池パックが熱くなっている。	そのまま充電を続けてください。冷めると自動的に充電を開始します。
	充電してもフル充電できない。		冷えた電池（約5°C以下）を暖かい室内で充電した。	1時間程度放置し、その場の温度になじませて再度充電してください。
			電池パックが2ヵ月以上放置されていた。あるいは購入したばかりである。	リフレッシュ充電を行ってください。
作業時	動かない。		電池パックが充電されていない。	充電をしてください。
			電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	フル充電しているのに作業スピードが遅い。		温度が低い場所（0°C以下）で保管した本体・電池パックを使用した。	再度充電し、充電完了になってからお使いください。（P.12参照）
	スイッチをきると、停止音がする。		ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
	充電しても圧着回数が少ない。		ダイス・ダイスホルダー等に消耗など不具合がある。	修理をご依頼ください。（P.19）
			電池パックの寿命	新しい電池パックをお買い求めください。（P.19）
	圧着した端子・スリーブに圧着マークがしっかり表示されない		メスダイス刻印部にゴミが付着している	ゴミを取り除いてください。
			圧着完了ラインが完全に見えない	充電をしてください。

左記の点検をしてもなお異常がある

その他

- 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが回る音がしない。
- 充電開始直後に「充電ランプ」も「待機ランプ」も点灯しない。
- 「待機ランプ」点灯後、1時間以上しても「充電ランプ」に変わらない。
- 「充電ランプ」点灯後、50分以上充電しても速い点滅にならない。
- 充電器側の「リフレッシュ充電ランプ」点灯後、13時間以上充電しても速い点滅にならない。

↓

ただちに使用中止
● 充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

お知らせ・点検方法

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より6ヵ月間です。
但しダイス・電池パックは消耗品ですから修理対象外です。
(電池パックのフックは有料修理させていただきます。)

補修用性能部品の保有期間

当社はこの充電圧着器の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の17〜18頁に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず充電器の電源プラグを抜いてから本体・電池パック・充電器をお買い上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間中は お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は
「修理ご相談センター」
ナビダイヤル(全国共通番号) 0570-081-365(ハイ 365日)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月〜金9:00〜19:00土・日・祝9:00〜17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。
札幌 ☎011-707-7210　大阪 ☎072-878-8999
東京 ☎03-5392-7190　福岡 ☎092-622-0531
名古屋 ☎052-551-7900

商品・お取扱いなどのご相談は
「お客様ご相談センター」
ナビダイヤル(全国共通番号) 0570-081-713(ハイ ナイス)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月〜金9:00〜19:00土・日・祝9:00〜17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。
松下電工お客様ご相談センター
☎ 06-6904-4382
FAX 06-6904-4471
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。　0304

松下電工株式会社　パワーツール事業部
〔〒522-8520〕滋賀県彦根市岡町33番地

EZ901039021 304-5ZY ④